

Database of Dark Clouds Based on the 2 Micron All Sky Survey on the Web

P12c

下井倉ともみ、土橋一仁、西浦慎悟（東京学芸大学）、梅本智文（国立天文台）、暗黒星雲データベース作成委員会

このポスター発表では、2 Micron All Sky Survey Point Source Catalog (以後、2MASS PSC) に基づく暗黒星雲探査（土橋他、2011年春季年会）で得られたデータの公開について報告する。平成22年12月現在、同探査結果の印刷版データベースについては、すでにPASJ誌上での公開が決まっている (Dobashi 2011, PASJ, in press)。我々はこの探査で得られた暗黒星雲のアトラス（近赤外線減光量・色超過マップのFITSデータ）およびカタログ（検出した暗黒星雲の座標や減光量等を記述したテキストデータ）をWeb上で公開するためのホームページ（全文英語）を作成し、すでに1年間ほど試験運用を行っている。そのホームページのURLは、<http://astro.u-gakugei.ac.jp/tenmon/Atlas/index.html> または <http://darkclouds.u-gakugei.ac.jp/index.html> である。この1年間の同ホームページの利用件数は約5千件であり、ダウンロードされたFITSまたはテキストデータは約500GBである。このホームページで主に公開している近赤外線の減光量・色超過マップは、暗黒星雲の濃密な部分に感度がある。一方、我々が以前作成した可視光帯の写真乾板（Digitized Sky Survey）に基づく暗黒星雲データ (Dobashi et al. 2005, PASJ, 57, S1) は、減光量があまり大きくない暗黒星雲の周辺に感度をもち、2MASSを利用した今回の暗黒星雲データとは相補的な関係にある。このホームページでは、このDSSに基づくデータも公開している。また、学校教育を通じた研究成果の社会への還元も念頭に置き、高校で地学を学ぶ生徒を想定した「暗黒星雲博物館」（日本語）も併設した。本ポスターでは、このホームページの紹介を行う。